

桃が教えてくれたこと

埼玉県戸田市立戸田第一小学校 六年 渡辺 恵菜

私の祖父母は和歌山に住んでいます。そして毎年、おいしい桃を送ってくれます。その桃は柔らかく、甘くてジューシーで、食べると幸せな気分になります。

しかし、今年送ってくれた桃は、いつも祖父母が送ってくれる桃とくらべてかたかったです。そこで、桃がかたい理由を母に聞いてみました。母が言うには、地球の気候変動によって桃を収穫する時期の見極めが難しくなっているから、だそうです。気候変動によって地球全体の温度が上昇することで、桃が熟れる速度も上がり、やわらかい桃を美味しいまま配送することが少し難しくなっているので、まだかたいうちに送ってくれているそうです。

桃と気候変動についても少しよく調べてみると、異常気象のせいで桃農家の人達に深刻な打撃を与えているということがわかりました。大雨がふり、猛暑になり、虫が大量発生しているそうです。異常気象のせいで虫が大量発生しているということは意外でした。気候変動がさらに進行していき、もしかしたら日本の桃農家さんたちや、ほかの果物を育てている農家さんたちが職を失ったり、日本の桃をもう食べることができなくなるかもしれないということが心配です。

地球の気候変動と桃と関係があると思えば、地球温暖化と食料の関係についても調べました。すると、気候変動が引き起こす気温の上昇や異常気象により、作物の収穫量など様々なところに影響があるということがわかりました。使うものの節約をすると地球温暖化の緩和につながるそうです。

桃がきっかけになり、異常気象が引き起こすことや異常気象が起こる原因、対策までも知ることができました。桃のため、食料のため、地球温暖化の進行を緩和するための行動を取りたいです。